

2022年度業務実績報告書

提出日 2023年 1月 19日

1. 職名・氏名 教授 山路直人

2. 学位 学位 博士、専門分野 経営学、授与機関 神戸大学、授与年 2009

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習	
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 経営戦略論Ⅰ（2単位 毎年開講） 2年生	
②内容・ねらい 経営戦略の全体像と基礎概念を理解すること、戦略と組織との関係を理解することをねらいとしている。	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 できるだけ事例を取り入れながら説明することを心掛けている。理解を深めてもらうため、自分で企業の戦略についてのレポートも数多く提出してもらっている。理解度を確認するため、できるだけ中間試験を行うことにしている。まとめのプリントも配布している。	
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 経営戦略論Ⅱ（2単位 毎年開講） 2年生	
②内容・ねらい Ⅰで基礎概念を理解していることを前提にⅡでは、特定の企業や産業の成長プロセスに焦点を当てる。戦略について広く深く理解することが狙いである。	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 各自に基本的な戦略、財務データ、歴史などを調べてもらっている。これらはレポートとして提出してもらっている。 2011年度からは、パワーポイントを中心に授業を進めている。 毎年ビジョナリーカンパニーの1社の成長プロセスに焦点を合わせ、どのような問題に直面しどのように乗り越えてきたのか、現在どのような問題をどのように乗り越えようとしているのか、について学習している。今年度は6社の成長プロセスにおける極めて重要な場面を取り上げた。それらの比較によって明らかになることに焦点を合わせた。各社の成長プロセスのプリントも配布した。	
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 経営学総論Ⅱ（2単位 毎年開講） 2年生	
②内容・ねらい 経営学の発展の経緯を、経営学における7つのブレークスルーを中心に振り返る。今日の経営学の全体像と特徴を理解してもらうことを狙いとしている。	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 経営学総論Ⅰと関連させながら説明することを心掛けている。2011年度からは、パワーポイントを中心に授業を進めている。 2021年度も遠隔で実施、毎回課題を提出してもらったが、履修登録者、出席者が多く、出席は確認することができたが、例年より課題の対応でかなりの時間を要した。2022年度は、基本的には対面で行い、出席の確認はGoogle・クラスルームで行った。	

①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等
外書講読Ⅰ（2単位 毎年開講） 2年生

②内容・ねらい

経営学の発展に大きく貢献してきた人の考えを英語で理解する。経営学の基本用語を理解する。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

基本的には長文の全訳を行っている。その前提として、英文を読むときの基礎的な点を強調することに注力できた。また、例年学内の TOEIC の受験を行っている。今年も行った。

演習形式に慣れてもらうために、各自の自主性を重視している。学生からの提案は、できるだけサポートしている。

①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等
演習Ⅰ（2単位 毎年開講） 3年生

②内容・ねらい

演習ⅠとⅡを通じて、卒論を完成させることを前提としている。演習Ⅰでは、まず2年間関心を持つ続けられるテーマを設定し、そのテーマに関連のある資料を100以上収集し、整理分析していく。選んだテーマ、問題に対する自分なりの答えを、議論を通して練り上げていく。演習Ⅰのねらいは、選んだテーマに関して広く深く理解することに置いている。

2012年度からは、視野を広げること、視点をずらすことを意識的に強調することにした。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

毎年12月か1月に、3年生と4年生が合同で卒論の発表大会を1日かけて行ってきた。4年生との交流が深まり、プレゼンテーションの訓練にもなると考えている。今後も継続したいと考えているが、2014年度以降は、就活の長期化などで個別の卒論指導に力を入れる必要が高まったためほとんど実施していないが、状況が許せば再開させたいと考えている。

できる限り4年生や卒業生から就職の話を聞けるような機会をつくっている。

①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等
演習Ⅱ（2単位 毎年開講） 4年生

②内容・ねらい

演習ⅠとⅡを通して、卒論を完成させることを前提としている。演習Ⅱでは、選んだテーマに関して広く深く理解してきたことを前提に、テーマ・問題に対して自分なりの答えを説得力ある形で導き出すことに比重を移す。演習Ⅱのねらいは、いかに説得力を高めるのかについて深く考えることと論理的な思考のトレーニングにある。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

毎年12月か1月に、3年生と4年生が合同で卒論の発表大会を1日かけて行ってきた。3年生との交流が深まること、プレゼンテーションの訓練となると考えている。今後も継続したいと考えているが、2014年度以降は、就活の長期化などで個別の卒論指導に力を入れる必要が高まったため実施していない。

2014年度以降、就活終了後、卒論の個別指導に重点を移している。

ゼミ旅行は2005年度から毎年実施しているが、2020年度はコロナのため実施できなかった。

① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等
経営戦略特論（2単位 隔年開講） 大学院

② 内容・ねらい
 エクセレントカンパニーともビジョナリーカンパニーとも呼ばれている3Mの成長プロセスを見ながら、成長戦略について、多面的に議論し、理解を深める。
 企業が成長プロセスで、どのような課題に直面し、それらをどのように乗り越えてきたのかについて理解を深める。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫
 基本的には、講義は、1章ごとに担当を決め発表、それをもとに議論する形式をとるが、時には、1章を2人が発表し、それをもとに議論している。

(2)その他の教育活動

内容

4. 研究業績

(1)研究業績の公表

①著書

【 本】

②学術論文（査読あり）

【 本】

③その他論文（査読なし）

【 本】

④ 学会発表等

【 件】

⑤ その他の公表実績

コラム（交差点）「ラッキー&ハッピー・アクシデント」日本繊維製品消費科学会学会誌『繊維製品 消費科学』2022年11月号。

【1本】

(2)科研費等の競争的資金獲得実績

(3)特許等取得

(4)学会活動等

日本繊維製品消費科学会北陸支部・常任幹事（2015年度～）

5. 地域・社会貢献活動

6. 大学運営への参画

(1)補職

--

(2)委員会・チーム活動

『保健管理センター運営会議』
『学部予算・研究委員会』

(3)学内行事への参加

出張講義（丸岡高等学校、進路探求講座、10月31日）

(4)その他、自発的活動など
